

# 専用吊り具の正しい使用方法

ユニホールの組立には、必ず専用吊り具を用いて安全で確実な作業を厳守して下さい。

専用吊り具には、以下の種類があります。

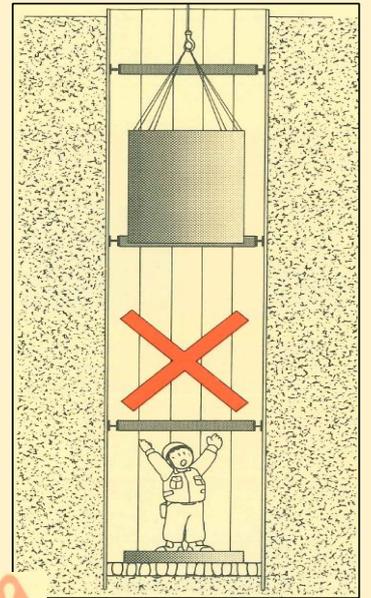
- U1HSN (Y、0、1号、A1号及びE1号用)
- U2HSN (2、3号及び1号II種(深形)用)
- U4HSN (4、5号用) (MH2000用)
- U4HSPN (4、5号用の吊りピン)

吊り上げる部材の号数や種類によって、専用吊り具の使用方法が異なるので以下の吊り方を厳守して下さい。万が一、異なる使い方をされた場合の事故に関しては一切の責任は負いかねます。

不明な点がありましたらマンホールセンター又は担当営業にお問い合わせ下さい。

- 東日本 (☎03-3556-0469) 中日本 (☎0120-497-490)  
西日本 (☎0120-497-491)

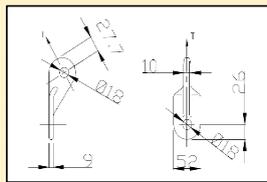
玉掛け作業を行うときは、その日の作業を開始する前に当該ワイヤーロープ等の異常の有無について必ず点検を行う必要があります  
(クレーン等安全規則(省)第220条 作業開始前の点検)



※吊り上げた製品の下には絶対に入らないで下さい。

## 専用吊り具各部の名称

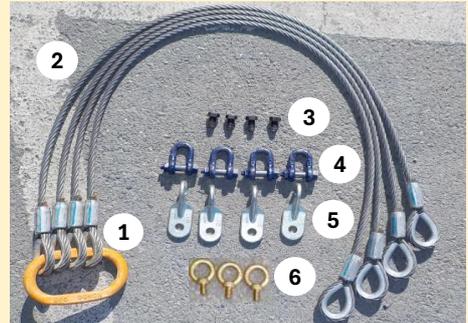
### ● U1HSN (Y、0、1号、A1号及びE1号用)



ジョイントプレート

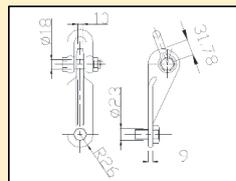
- ① マスタリング
- ② ワイヤロープ(3本 Φ9mm)
- ③ M16六角ボルト(2個)
- ④ ジョイントプレート(2個)
- ⑤ シャックル(3個)
- ⑥ アイボルト(3個)

### ● U2HSN (2、3号及び1号II種(深形)用)



- ① マスタリング
- ② ワイヤロープ(4本 Φ14mm)
- ③ M16六角ボルト(4個)
- ④ シャックル(4個)
- ⑤ ジョイントプレート(4個)
- ⑥ アイボルト(3個)  
(1号以下の斜壁上部3点吊り用)

### ● U4HSN (4、5号用) (MH2000)

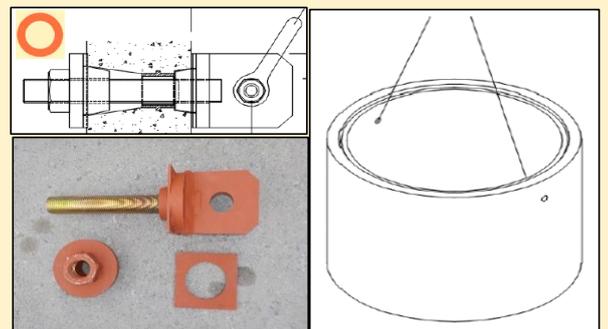


ジョイントプレート  
(ロングタイプ)

- ① マスタリング
- ② ワイヤロープ(4本 Φ14mm)
- ③ M20六角ボルト(4個)
- ④ シャックル(4個)
- ⑤ ジョイントプレート(4個)  
(ロングタイプ)

### U4HSPN (吊りピン)

側部2点ピン吊りの場合は、吊り穴に吊りボルトを通し反対側から固定用ナットを締込み取り付けして下さい。ナットの掛かりが悪いと外れる危険がありますので注意して下さい。



ワイヤーのキンクや傷、六角ボルト、アイボルトの変形・傷など吊り具に異常が発見された場合は、新しい吊り具と交換して下さい。

## ■専用吊り具の基本的な使用方法

### ● Y、0、1号、A1号及びE1号を吊る場合

U1HSNを1組用いて、斜壁は上部よりアイボルト3点吊り、それ以外の部材は側部で六角ボルト2点吊りを厳守して下さい。



(側部はアイボルトを絶対に使用しないで下さい)



斜壁天端：アイボルト



六角ボルト

### ● 1号II種(深形)、2号及び3号を吊る場合

U2HSNを1組用いて側部で六角ボルト4点吊りを厳守して下さい。(I種でも0号H=240、1号H=210、240の管取付壁又は直壁及び0号、1号H=150、180の底版一体型管取付壁はこれに準じます。)

(2号、3号斜壁部材も同様となります)



六角ボルト



六角ボルト

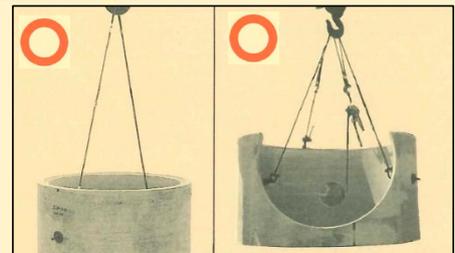
### ● 2号II種(深型)、3号II種(深形)を吊る場合

U2HSNを2組用いて側部で六角ボルト8点吊りを厳守して下さい。



### ● 4号、5号を吊る場合

U4HSNを2組用いて、側部で六角ボルト8点吊りを厳守して下さい。ただし、大きな削孔を行うとバランスが崩れやすいため、レバーブロック等を併用してバランスを取る必要があります。削孔が部材上部にかかった場合は下記の吊りピンを用いて、側部2点吊りします。ただし大きな削孔を行うとバランスが崩れやすいため、レバーブロック等を併用してバランスを取る必要が有ります。



※吊りピン使用時のワイヤーの太さ等は下記の通りです。

- ・ 4号の場合、太さ20mm(破断力212kN)以上、長さ1800mm以上
- ・ 5号の場合、太さ24mm(破断力306kN)以上、長さ2200mm以上

## ■専用吊り具の装着方法

### ● 上部3点吊り

Y・0・1・A1号及びE1号の斜壁を吊り上げる場合は上面の受枠固定用のアンカー(3ヶ所)にアイボルトを直接、しっかりと取付けて下さい。下側にある緊結用アンカーに吊り具を付けると、斜壁が回転して危険ですので絶対に禁止して下さい。



### ● 側部2、4、8点吊り

左記以外の部材の場合は、緊結ボルト用のアンカーにジョイントプレートをあて六角ボルトをしっかり締込み取り付けて下さい。

下図のように、側壁へ六角ボルトを使用して取り付ける箇所へアイボルトを用いることは絶対に禁止して下さい。製品及びアイボルトの破損につながり大変危険です。

